

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和7年3月21日19時30分
近畿地方整備局
道路部
防災室・災害対策マネジメント室
福井河川国道事務所

国道158号 ^{おおの}大野市 ^{かみはんばら}上半原(福井県管理)の斜面崩壊に対する
国土交通省の支援状況について【第2報】

3月19日に発生した福井県管理の国道158号大野市上半原における大規模な斜面崩落
＜参考①＞に対して、国土交通省より、以下の支援を実施しております。

＜国土交通省の主な支援状況＞ ※下線部は【第1報】からの更新箇所

- 被災状況の把握や今後の対応にかかる福井県との迅速な連絡調整を図るため、福井県奥越土木事務所にリエゾン(職員)のべ2名を派遣(3月21日で撤収)
- 被災状況の把握や二次災害の発生を防ぐため、遠隔での常時監視ができるよう、Ku-SAT(衛星通信機器)を使用し、衛星通信回線を活用した常時監視体制を構築大野市にも被災現場の映像提供を開始
- 本日、福井県が実施した専門家による現場視察には、リアルタイムの被災状況把握、関係機関の連絡調整等が円滑に行えるよう、複数キャリア対応(docomo,au,softbank)の映像配信システムを活用したライブ中継を通じて、国土技術政策総合研究所や土木研究所等も参画し、技術的支援を開始
なお、今後、福井県が設置する対策検討会＜参考②＞に国土交通省職員も参画し、引き続き技術的支援等を実施予定

引き続き、福井県の意向を踏まえ、被災箇所の早期復旧に向け、災害対策用機械の提供や技術的支援を展開してまいります。

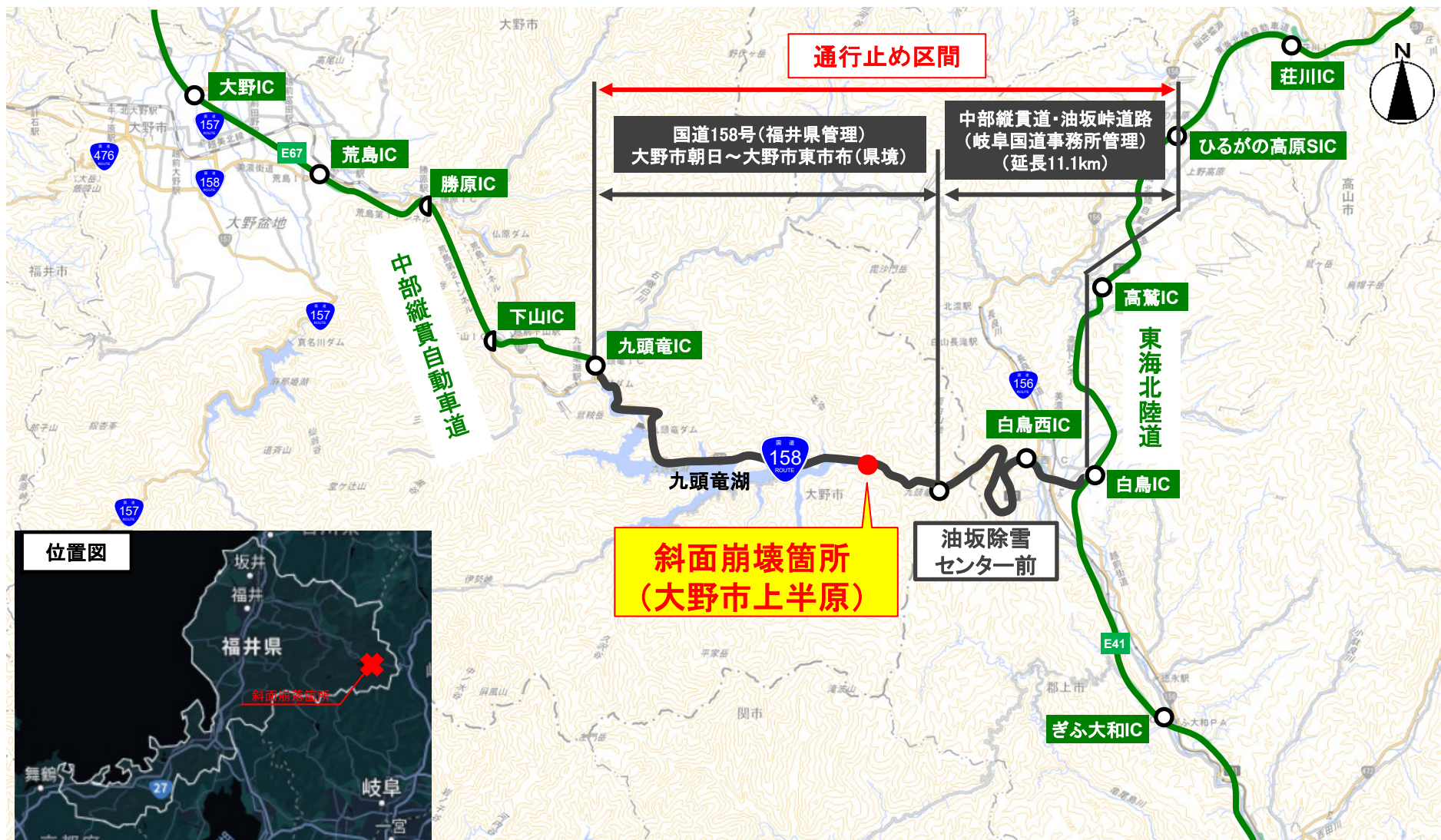
なお、斜面崩落に伴う通行止めにより、福井県・岐阜県境が通行不可となったため、中日本高速道路(株)などの関係機関と連携して、道路情報板にて広域迂回を促す情報提供を実施しています。

＜取扱い＞

＜配布場所＞ 福井県政記者クラブ
近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

＜問合せ先＞ 国土交通省 近畿地方整備局 道路部 地域道路課
地域道路調整官 藤田 晶久(ふじた あきひさ)
課長 東岡 正樹(ひがしおか まさき)
電話 06-6942-1141(代表)

<参考①> 斜面崩壊被災箇所 位置図



令和7年3月21日

福井県 道路保全課

担当者： 山田、今井

電話： 0776-20-0514

メール： dourohoz@pref.fukui.lg.jp

一般国道158号（大野市上半原地係）における斜面崩壊について
有識者による現場視察および対策検討を実施しました

令和7年3月19日に発生した大野市上半原での大規模な斜面崩壊に関し、本日午後に有識者による現場視察および対策の検討等を実施しました。

■現場視察

日 時：令和7年3月21日（金）13時30分 ～

■対策検討

日 時：令和7年3月21日（金）15時 ～

場 所：奥越土木事務所

参加者：

荒井克彦（福井大学 工学研究科 大学院工学研究科 特命教授）
桑原正明（国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長）
浅井健一（土木研究所 地質・地盤グループ 地質チーム 上席研究員）
茶山徹（福井河川国道事務所 工務第二課長）
山田嘉晴（道路保全課長）他

「概 要」

発生メカニズム、今後の調査・モニタリング方針、応急対策（迂回路等）の方針（別紙参照）

「今後の予定」

3月28日（金）に第1回技術検討会を開催予定（詳細は後日お知らせします）

別紙

令和 7 年 3 月 21 日
道 路 保 全 課

＜結果概要＞

【福井県国道 1 5 8 号土砂崩落】現場視察および対策検討の実施について

現場視察の結果

- ・ 荒井特命教授をはじめ関係者が被災現場を現地確認
- ・ ドローンを活用し、斜面や周辺状況の詳細についてもモニターで確認

対策検討会議の結果

- ・ 大規模斜面崩壊の発生原因について、「崩壊箇所は地下水が集まりやすい窪地地形であったため、融雪により地下水位が上昇し、斜面下段での小規模な表層崩壊が発生。これにより斜面の下部や側面の支えを失ったことにより、斜面全体の大規模崩落が発生」との見解が示された。
- ・ 崩落した斜面上には不安定な土砂が残っているため、斜面周辺を含めた現地調査やモニタリングの重要性が示された。
- ・ 今後の復旧対策について、早期に通行を確保するための迂回路の設置の重要性が示された。
- ・ 今後、現地調査を踏まえた迂回路の設置や斜面对策、道路の復旧に向けて、より詳細な検討が必要であり、対策検討会を設置し、迅速な復旧を進めていくことについて合意が図られた。



写真 1. 現場視察状況



写真 2. 対策検討